

その歴史、 千三百年。

山の国のワインのルーツをたどる
— 甲州ぶどう発祥の地へ —

世にもめずらしき、ぶどうを手にした薬師さま

盆地の扇状地から、山肌の斜面にまで這い上がるように織りこまれた美しいタペストリー。見渡す限りのぶどう畑。デラ、ピオーネ、巨峰、ロザリオ…、ぶどう棚になる今や数十種におよぶ栽培種の中で、特別な風格を放っているのは、世界的に注目されている白ワイン「甲州」を生み出す「甲州ぶどう」。

鈴なりに淡い藤紫色の実をつける姿は、日本人の美意識を体現しているかのごとく、繊細な美しさと気品がある。昔から地元で、「ホンブドウ」と、誇りを込めて呼ばれる、日本古来から伝わるぶどうだ。

そして、甲州ぶどう発祥の地とされているのが、ここ勝沼。傾斜地に広がる美しいぶどう郷を旅すれば、神話ともいえるような発祥の物語が、そこかしこに息づいている。

一面のぶどう畑が裾野を覆う柏尾山。その麓に、ぶどう寺のこと、大善寺を訪ねると、国宝・薬師堂の厨子の中に、ぶどうの房を手にした薬師如来さまがいらっしやる。大善寺の住職である井上哲秀さんは語る。

「今から約1300年昔の奈良時代。僧『行基』が、勝沼の日川にある大石の上で修行をしたところ、夢の中に、手ぶどうを持った薬師如来さまが現れました。夢を喜んで行基は、その薬師如来さまを像に刻み、『柏尾山大善寺』を開山。薬園をつくり民を救済しながら、法薬としてのぶどうのつくり方を村人に教え広めたといえます。これが、甲州ぶどうの栽培のはじまり…」。

ぶどうを手にした薬師さまと、甲州ぶどうは共に、千年の時を越え、幾多の時代の荒波をくぐり抜けてきたのだと言う。千年前の史実を明らかにする手だてはなくとも、伝説は今もこうして、勝沼ぶどう郷で生き続けている。



薬師如来像 国重要文化財

5年に一度御開帳される秘仏。次の御開帳は2018年10月

[写真提供/大善寺]

勝沼ぶどう郷につたわる二つの起源伝説

「この辺りの土地は小石が混ざってしまっていて、稲作ができません。どちらかというと、木になるものが合っている。江戸時代には甲州八珍果といって、ぶどうの他にりんごや梨、栗などがありました。結局ここは、ぶどうが一番合う土地だったんですね。それから、昔は甲州ぶどうの収穫は、10月になってから。峠から盆地に吹き下ろす風で、ぶどうの実に色が出たんです。さらに川沿いで夜冷えるから、昼夜の寒暖差で色も味も濃くなる。条件がそろっているんですね。」

だからこそ、薬師如来の伝説が語り継がれてきたのだらう。

勝沼には、もう一つ、甲州ぶどうの起源として語り継がれる伝説がある。それは大善寺説の起源からは、400年ほど後の1186年のこと。大善寺より南下する上岩崎地域に残る伝承で、雨宮勘解由かげゆという人物が、近くの山道で見たこともないツル性の植物を発見したのがはじまりとされるもの。雨宮勘解由が、これを自園に植えて育てたところ、5年を経て極めて甘美な実がなったので、この果実の繁殖方法を研究し、広めたという。

この二つ分かれて語られる起源の謎についても、ご住職の自説がわかりやすかった。

「千年も前は、この辺り一帯ぜんぶが寺領だったんです。今残っているのは、いわゆる奥之院に当たります。つまり上岩崎地域も旧境内だったんですね。おそらく、ここに植えられたものが、生き残っていたということではないでしょうか。それを雨宮勘解由にながしという人が見つけ、たくさん増やし、広げて、今のぶどう郷ができた……」

ちなみに勘解由とは、名前のようだが、平安時代に公共の監査官のような役割をした職名だとも教えてくださった。

「仏教では、ぶどうは薬として使われているんです。特に薬師如来さまは、全ての病を癒やすと同時に、われわれの生きている世界を守護する仏さまなんです。薬としてのぶどうと深く結びついているのです。ぶどうを持つた薬師如来さまは当寺だけですね。千手観音さまの持ち物の中には、ぶどうがあります。唐招提寺の千手観音立像も、ぶどうをお持ちですね。」

最新の研究では、甲州ぶどうのDNAが詳細に解析され、そのルーツがはっきりしてきた。ワイン醸造に適したヨーロッパ系品種のDNAに中国の野生種のDNAが少し含まれているとのことだった。野生種にはトゲがあり、甲州ぶどうの枝の付け根にある小さなトゲにその面影が残る。甲州ぶどうは、カスピ海付近で生まれて中国に渡り、長い時間をかけて交雑しながら日本に伝来したと考えられる。

千年以上も、日本の風土に深く根づいてきた甲州ぶどうの歴史を垣間見ると、今の甲州ワインの活躍が一夜に叶えられた魔法ではないことがわかる。





大善寺

甲州市勝沼町勝沼3559 TEL.0553-44-0027

奈良時代に行基によって創建された由緒ある寺。本堂(薬師堂)は、鎌倉時代の再建。関東最古の木造建築物で、国宝の指定を受ける。

真言宗智山派 柏尾山 大善寺 住職 井上 哲秀さん

